

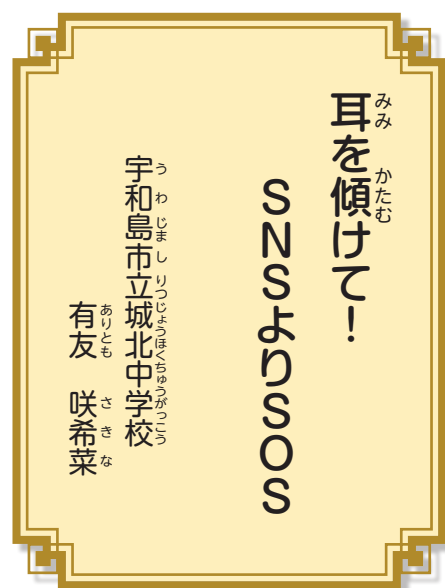
じんけん うわじま人權だより

こんにちは。「うわじまじんけんだより」を手^てに取^とっていただきありがとうございます。令和4年度も引き続きコロナ禍^かの中^{なか}にありましたが、感染対策^{かんせんたいさく}を徹底^{てってい}し、予定^{よてい}どおりに講演会^{こうえんかい}や研修会^{けんしゅうかい}を実施^{じっし}することができました。講演会^{こうえんかい}や研修会^{けんしゅうかい}では、参加者^{さんかしゃ}の方^{かた}へアンケートをお願いしています。その中^{なか}で、法務省^{ほうむしょう}が啓発活動^{けいはつかつどうきよう}強化^{きやうか}するものがあります。今回のアンケートの多くでは「障害^{しょうがい}を理由^{りゆう}とする偏見^{へんけん}や差別^{さべつ}をなくそう」や「インターネット上^{じよう}の人権侵害^{じんけんしんがい}をなくそう」とともに、「性的指向^{せいせいしこう}及び性自認^{せいじにん}（性同一性^{せいどういつせい}）を理由^{りゆう}とする偏見^{へんけん}や差別^{さべつ}をなくそう」への関心^{かんしん}の高まり^{たか}を感じました。

残念^{ざんねん}なことです。性的マイノリティ^{せいせいまいのりてぃ}の方^{かた}々に限らず少数派^{せうすうは}が偏見^{へんけん}や差別^{さべつ}の対象^{たいしやう}となってしまうことがまだまだ多くあります。

人権^{じんけん}は誰^{だれ}もが生まれながらに持^もっている、幸^{しあ}せに生^いきる権利^{けんり}です。そして誰^{だれ}の人権^{じんけん}も尊重^{そんじやう}されなくてははいけません。誰一人^{だれひとり}取り残^とさない・取り残^とされない共生社会^{きやうせいしやかい}の実現^{じつげん}のためにこの「人権だより」で皆様^{みなさま}とともに「人権」について考える時間^{じかん}を少しでも共有^{きやうゆう}できればと思います。

令和4年度じんけん作品集「いのち」
【標語】 最優秀作品



市の人権教育・啓発の取組を知っていますか？

宇和島市では、「人権を尊重しあらゆる差別をなくする条例」に基づき、市民一人ひとりの参加による、偏見や差別のない明るい、住みよい、豊かなまちづくりの実現をめざしています。

なにしているの①

公民館^{こうみんかん}や学校^{がっこう}、職場^{しょくば}など人権学習^{じんけんがくしゅう}の講師^{こうし}を派遣^{はけん}しています。地域^{ちいき}や団体^{だんたい}の会合^{かいごう}などにも伺^{うかが}うことができます。

なにしているの②

人権^{じんけん}の各種講演会^{かくしゅこうえんかい}や学習会^{がくしゅうかい}を開催^{かいさい}しています。人権教育・啓発用^{じんけんきやういくけいはつよう}の本^{ほん}・ビデオ^{ディーブディー}・DVDなどの貸し出しも行って^{かだおこな}います。

なにしているの③

福祉会館^{ふくしかいかん}・隣保館^{りんぽかん}では、相談事業^{そうだんじぎやう}、交流イベント^{かうりゅう}や各種講座^{かくしゅこうざ}・教室^{きやうしつ}、貸館事業^{かしかんじぎやう}などを行^{おこな}っています。ご利用^{りよう}ください。

なにしているの④

人権相談^{じんけんそうだん}（法務局事業^{ほうむきよくじぎやう}）の窓口^{まどぐち}です。相談^{そうだん}は無料^{むりやう}。市役所^{しやくしょ}と吉田^{よしだ}・三間^{みま}・岩松^{いわまつ}の各公民館^{かくこうみんかん}で実施^{じっし}しています。詳細^{しょうさい}は広報^{こうほう}にて。

今年度の人権教育・啓発の主な取組

【人権啓発ビデオメッセージの制作】

「しない、させない、ネットいじめ」(宇和島東高等学校津島分校脚本・出演)、「差別をなくすのは法律ですか?それとも、人の心ですか?」(宇和島市人権・同和教育推進委員会、高校生友の会脚本・出演)、「多様性について」(宇和島市立吉田中学校脚本・出演)のビデオメッセージを制作しました。宇和島ケーブルテレビで放送されていたので、ご覧になられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

子どもから大人まで、多くの年代の方の人権に関わる問題提起をそれぞれの立場から今後行う予定です。人権啓発課や福祉会館・隣保館でDVDの貸し出しも行っています。ぜひご視聴ください。

【人権の集いを開催】

「差別をなくする強調月間」(11月11日～12月10日)にあわせて、旧1市3町ごとに行われました。



11/16「吉田町人権をまもる集い」(吉田公民館)
前田良さん講演【パパは女子高生だった】



11/30「笑顔の集い in つしま」(津島中)
映画「こども食堂」から考えました。



12/1「人権を考える市民の集い」(城南中)
堀内佳さんと、本当の幸せについて考えました。



12/2「三間町人権あったかコンサート」
(コスモスホール三間)
現地研修での人権学習報告もありました。

コロナ禍で参加者を制限していましたが、来年度はより多くの方に参加していただきたいと思います。

【シトラスリボンプロジェクト・点灯式】

12月5日、エッセンシャルワーカーや医療従事者への感謝の気持ちを表すため市立宇和島病院の正面玄関がシトラスカラーにライトアップされました。今年は、市民を代表して、「遠見子ども会」の児童生徒がお礼の言葉を述べました。



【人権擁護委員に対する法務大臣表彰】

本市在住の人権擁護委員久保政文さんが、多年にわたる功績により、令和4年10月24日法務大臣から表彰されました。久保さんは、平成15年10月に委嘱されてから今日まで、19年の長きにわたり、地域住民のため、積極的に人権尊重思想の普及高揚に努めておられます。

人権教育総合推進地域事業 研究発表会が三間地域で開催されました

文部科学省の指定を受け、三間地域が令和2・3・4年度の3年間の研究への取組を公開・発表しました。「地域全体で誰一人として取り残さないための学校、家庭、地域社会が一体となつての人権・同和教育」をテーマに取り組みました。全般にわたって連携しながら、三間町の温かい地域のつながりを生かした事業が展開され、成果を残しました。



地域の先人の人権獲得の
歴史から学ぶ学校



異年齢での縦割りチームの
活動をエ夫した保育園



社会教育と学校教育が連携
した県外での現地研修会



みんなの力でつくられるみんなの
ための人権教育が各学校、各保育園、公民館、隣保館等で繰り広げられました。

どうわもんだい 同和問題とは…

どうわもんだい ぶらくもんだい ぶらくさべつ もんだい にほん れきし なか
同和問題（部落問題）とは、部落差別にかかわる問題です。かつての日本の歴史の中
う さべつ どうわ ち く よ ちいき う そだ いま しあわ
で生まれた差別が、同和地区と呼ばれていた地域に生まれ育ったというだけで、今も幸
い けんり うば く に こゆう じゅうだい しゃかいもんだい
せに生きる権利が奪われてしまう、わが国固有の重大な社会問題です。

げんざい けっこんさべつ しゅうしょくさべつ どうわ ち く ぶじよく ちょうはつ
現在でも結婚差別や就職差別だけではなく、同和地区のことを侮辱したり、挑発する
よう な 落書きや SNS 上での誹謗中傷など、ざんねん どうわ ち く たい へんけん さべつ
意識にはまだまだ根強いものがあります。同和問題は、いちにち はや かいけつ
ない問題です。

じんけん どうわきょういく 人権・同和教育とは…

じんけん どうわきょういく さべつ おも こころ も
人権・同和教育とは「差別をしてはいけません」とか「思いやりの心を持ちましょう」
といった「心がけ」の教育ではなく、私たちの身の回りにある差別や不合理をなくして
きょういく
いく教育です。

どうわもんだい さまざま じんけんもんだい げんじつ ふか まな わたし ひとり い
同和問題をはじめとする様々な人権問題の現実から深く学び、私たち一人ひとりの生
かた と なお とも こころゆた しあわ じんせい あゆ
き方を問い直し、共に心豊かで幸せな人生を歩んでいきましょう。

へんしゅうこうき 編集後記

2022年6月に「こども基本法」と「こども家庭庁設置法」が可決・成立しました。
2023年4月1日からこども家庭庁が設置され、これまでバラバラに取り組まれていた子
も政策を一括して推進することになります。

国連（子どもの権利委員会）の指摘のように日本では、「子どもが管理の対象として扱わ
れ、自分のことに関して意見が言いにくい、尊重されにくい」という現実があります。こ
れからの日本の社会の中に「子どもの権利」が十分に浸透し、子どもも大人もみんなが笑
顔で過ごせる宇和島市であることを願ってやみません。

みなさんもこれを機に「子どもの人権」についても考えてみませんか。

へんしゅう はつこう う わ じま し きょういく い いんかいじんけんけいはつ か
編集／発行 宇和島市教育委員会人権啓発課

じゅうしょ う わ じま し あけほのちやういちばん ち でん わ
住所 宇和島市曙町1番地 電話 0895-49-7034

E-mail jinken@city.uwajima.lg.jp



宇和島
uwajima